

1 目指す生徒の姿(ゴール像)を明確にする。

- (1) 学習指導要領をよく読み、本単元でねらいとする内容を確認する。
- (2) 単元の学習を終えたときに、どんな問題が解けるようになっているといいか、どんな力を付けた姿になってほしいか、具体的に思い浮かべる。

【参考】県立高校入試問題、全国学力・学習状況調査問題、長崎県学力調査問題、eライブラリの問題など

⇒ これらの問題を見ると、今、身に付けるべき力はどんな力か具体的に考えることができる。

本校研究主題
達成にあたって



教科で目指す主題の姿をはかる問題を設定し定期考査で出題することで、本校の研究主題にどれくらい到達したかをはかります。
⇒ 評価問題・・・単元の学習前に設定

例: 数学科「一次関数」
ねらい) 一次関数を用いて具体的な事象を考え、考察し表現すること。

こんな課題が解けるといいな



例: 国語科2年
「君は最後の晩餐を知っているか」・・・単元の終末に「君は〇〇を知っているか」というタイトルで調べたことを論理的に説明しよう。
⇒ 「単元を貫く課題」



【どんな力が必要か・・・】

一次関数の意味、グラフの意味、グラフから式(式からグラフ)を求める、交点を求める、グラフの特徴を知る、グラフからわかることを根拠に説明する。
「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に向かう態度」それぞれにあたる。

2 単元を通してどんな力が必要かを考える。

- (1) 1で考えた問題を解けるようになるためには、どんな力が必要か考える。
- (2) (1) 以外にも、この単元で身に付けさせたい力を「知識・技能」、「思考・判断・表現」のそれぞれについてあげる。

⇒ 1で考えた問題を解くために必要な力は、本単元で身に付けさせたい力だけでなく、既習内容について挙げてよい。

3 どの場面でどのような力を習得させるか考える。

- (1) 生徒の思考の流れを考え、どんな流れで学習内容を習得させると良いか考え配置する。

生徒が、主体的に学習に向き合うきっかけになります。「単元で勝負する」授業づくりを目指すことが大切。



- (2) 授業の流れとともに、1単位時間ごとの「本時の導入-前時の振り返り」の関連も考えて、授業内容を決める。

⇒ 授業の導入は、生徒の学習意欲を喚起する内容になるように、問題(課題)提示の導入、前時の振り返りからの生徒の声を生かした導入など、導入で生徒のもつ疑問、驚き、意欲を生かしたためあてづくりにつなげる。

単元の導入にあたる1時間目は単元全体で学ぶ意味をもたせ、「取り組んでみたい」「これを解決するぞ」と思えるよう課題設定や問題提起、事物、現象に疑問をもたせる工夫をする。

単元の導入は、終末にチャレンジさせようと思っっている問いを提示してみよう。

★それぞれの時間のつながりを考えて単元構成を考える。



4 思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。

- 単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。
- 単元内に数回位置付けることが望ましい。

※もちろん、毎時、思考活動は短時間でもあることが望ましいですが、ここでは、本時で思考活動に重点をおいた授業を指しています。

思考活動に重点をおいた授業

左の例では3/12時間が思考活動に重点をおいた授業になっています。

★単元を通して、より主体的に学習に向かわせるポイント

単元全体を大きく分けると、「導入-展開-終末」の構成となり、1単位時間の授業のような大まかな構成で考えることができます。導入段階で、1にも挙げたような課題を提示し、この課題解決のために、疑問を挙げて出されたものをもとに単元の授業を進めたり、この問題解決のために学習を進め、授業の節目で課題を見返したりするなどして学習の意義付けをするとよい。

単元	単元全体	単元内	単元外
1	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
2	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
3	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
4	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
5	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
6	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
7	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
8	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
9	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
10	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
11	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。
12	単元全体を見通して、思考活動に重点をおいた授業を位置付ける。	単元内に数回位置付けることが望ましい。	単元外に位置付けることも可能。

※次ページ参照

御厨中授業スタンダード

「長崎県授業改善メソッド」から目標（身に付けさせたい力）を明確にする。

科目	社会科	理科	外国語科	保健体育科	技術・家庭科	音楽科	
展開	<p>「めあて」をつくる</p> <p>「何を学ぶか」を示すもの</p> <p>【1】疑問からの「めあて」 ⇒経験した知識のズレから導く。矛盾したデータなどからその時間内に解決する事柄を明確にする。</p> <p>※「今日のめあては○○です。」からの脱却の意識を！</p> <p>「見通し」をもつ</p> <p>学習の目的達成のために何に着目し、どう調べ、考え、学んでいけばよいかを示すもの。【本時の見方・考え方】</p> <p>○○（今日の課題）は○○（過去の知識や経験）を使えば解決できるかな～</p> <p>□□に着目したんだね。□□を調べればわかりそうかな。</p>	<p>ポイント</p> <p>★「めあて」をつくる</p> <p>①「何を」【内容】</p> <p>②「どのよう」【方法】</p> <p>③「どうする」【言語活動】</p> <p>「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を示す。思考や感情、行動などをゆさぶる場の工夫が必要！</p> <p>★「何に着目して」のポイントを</p> <p>①「何を」</p> <p>②「どのよう」</p> <p>③「どうすれば、～」に着目して</p>	<p>思考活動</p> <p>頭をぐるぐる回す時間</p> <p>資料</p> <p>○適切な加工をした資料</p> <p>○視点を協働した資料やモジュール提示、実験結果の記録、グラフ、図、線など</p> <p>交流</p> <p>○学習内容を総合的に生かして考える教材</p> <p>○身近な対象などを工夫した学習課題 など</p> <p>活動</p> <p>～と～を関連付けて、～と～を比較して（～と～の共通点・相違点は・・・）、～からわかること（規則性）を整理して、～に着目して など</p> <p>○IT・思考ツール・付箋・モジュール・ホワイトボード・OKW法 など</p> <p>○可視化・操作化の手だて</p> <p>質問</p> <p>考え始めるきっかけとなる問い</p> <p>構造的な板書</p> <p>ノート指導</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』に居りますよ。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「振り返り」をする</p> <p>学びを自分事にする活動</p> <p>⇒自分の言葉でアウトプット</p> <p>視点②次回の学びにつなげる</p> <p>・もつ～・今後は～</p> <p>視点③自己変容を自覚する</p> <p>・授業前と授業後とは、どのような変化があったか</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>
	復習	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>	<p>「めあて」をつくる</p> <p>今日の授業の『めあて』は何かだっかな。</p> <p>『めあて』の『内容』に対する答え</p> <p>考えや体験、本時のポイントとなる事柄を具体的に示す。</p>

ポイント・留意点

科目	社会科	理科	外国語科	保健体育科	技術・家庭科	音楽科
左ページの「学習の流れ」と「ポイント・留意点」に	<p>①高知県のナス農家の工夫について</p> <p>②資料をもとに</p> <p>③説明しよう。</p>	<p>①二酸化炭素中のマグネシウムが継続する現象を</p> <p>②原子モデルや化学反応式を使って</p> <p>③説明しよう。</p>	<p>①反響する跳び箱運動の技の出来栄を</p> <p>②高めるためのポイントを見つけ</p> <p>③ポイントを説明しよう。</p>	<p>①発表する跳び箱運動の技の出来栄を</p> <p>②高めるためのポイントを見つけ</p> <p>③ポイントを説明しよう。</p>	<p>①幼児が生活習慣を身に付ける</p> <p>②どのような習慣を身に付けるか</p> <p>③考えよう。</p>	<p>①オーケストラで使われる楽器を</p> <p>②楽器の音の出し方を</p> <p>③仲間分けの仕方</p> <p>④説明しよう。</p>
「見通し」をもつ	<p>①池田の特色を</p> <p>②生かして</p> <p>③生産の工夫をしていく</p> <p>④可能性の見通し</p> <p>⑤「何に着目して」のポイントを</p> <p>①「何を」</p> <p>②「どのよう」</p> <p>③「どうすれば、～」に着目して</p>	<p>①酸化した炭素の割合を</p> <p>②着目できるよさを</p> <p>③整理しよう。</p> <p>④「何に着目して」のポイントを</p> <p>①「何を」</p> <p>②「どのよう」</p> <p>③「どうすれば、～」に着目して</p>	<p>①発表する跳び箱運動の技の出来栄を</p> <p>②高めるためのポイントを見つけ</p> <p>③ポイントを説明しよう。</p>	<p>①発表する跳び箱運動の技の出来栄を</p> <p>②高めるためのポイントを見つけ</p> <p>③ポイントを説明しよう。</p>	<p>①幼児が生活習慣を身に付ける</p> <p>②どのような習慣を身に付けるか</p> <p>③考えよう。</p>	<p>①オーケストラで使われる楽器を</p> <p>②楽器の音の出し方を</p> <p>③仲間分けの仕方</p> <p>④説明しよう。</p>